第 96 号

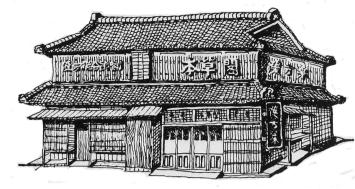
平成19年 1月 15日発行

和薬・漢方の本草閣 本店

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-21-17 (JR鶴舞駅西) TEL (052)241-3388 FAX (052)241-3443

JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車

E-Mail kanpouvaku@honsoukaku.co.ip



和薬・漢方の本草閣 緑店

〒458-0016 名古屋市緑区上旭1-622 (滝の水公園西) TEL (052)899-0221 FAX (052)899-0236

- ・名鉄バス 鳴海駅より 滝ノ水口 下車
- ・地下鉄 野並駅より 市バス (大清水行・太子行) 滝ノ水公園下車

E-mail midori@honsoukaku.co.jp

(祝日は営業) 木・日曜が祝日の場合お休み 営業時間 10:00~19:00 定休日 木・日曜 HP http://www.honsoukaku.co.jp/

- * 田8年 より、祝日は営業しております。定休日は木曜・日曜となります。
- * かわら版はメールでの配信も行っております。

~民間薬よもやま話~

トウチュウカソウ

冬虫夏草:昆虫から生ずるキノコ 第44回

冬虫夏草は、昆虫等の体に寄生して育つキノコの仲間で、冬に土の中で虫の 幼虫等に寄生し虫の栄養分を摂取して、虫が死に夏になると虫の体を突き破 り発芽し棒状のキノコを生やす事からこんな名前が付けられました。一

寄主となる昆虫は様々で、学会未発表種を含め、世界的に少なくとも400種、このうち日 本国内で約300種とされていますが、効果があるのは、この中の一部の種類のみです。 研究によるとその中で最も注目されるのは、ごく限られた地方に分布する、コウモリ蛾とい うガの幼虫に寄生したものが最高品種とされています。

冬虫夏草は年間の採取量は極めて少なく「幻の聖草」といわれ非常に高価なものです。 効能の幅広さは、副作用がなく天然薬理物質の宝庫といわれるほどです。

冬虫夏草がここにきてとくに注目されているのは、ガン治療の際の有効性です。

現代医学によるガン治療の際、冬虫夏草を併用すると、抗ガン剤や放射線治療法の副作用が 軽減され、全身状態がとても良くなり、免疫力も向上し回復力が高まるため治療がやりやす。 くなる、冬虫夏草を飲んだらガンが消失した、という事例が少なからず出てきております。 その他に、高血圧、糖尿病、精力増強、疲労回復、心臓病等に効果があるとされています。

漢方の本草閣では、最高品質である天然のコウモリ蛾の冬虫夏草を提供しております。 詳しくは、当店の薬剤師までお問い合わせ下さい。





漢方の薬湯に是非とも入って下さい!

薬湯は何種類もの植物の中に含まれている芳香油が、入浴中に皮膚や各器官に刺激 を与え、全身の毛穴から老廃物を吐き出させ、血行を良くし新陳代謝を高めます。 血液がスムーズに流れていれば「病」にならない!これは皮膚そのものにも言える 事です。

皮膚の血液の巡りが良いと「湿疹・吹き出物は出来ません!」 皮膚の血液の巡りが良いと「肌はスベスベとして綺麗です」

皮膚の血液の巡りが良いと「適度な汗をかき、体温調節ができ、健康に!」

皮膚の血液の巡りが良いと「風邪を引きにくくなります」

皮膚の血液の巡りが良いと「臭いがこもらずに体臭がない」

<主な効果・効能>

• 発汗作用

デトックス効果

身体を芯から温め持続させる

代謝を高める

• 疲労回復

肌の状態を整える

・良質な睡眠

肩のこり あせも うちみ 荒れ性 くじき 神経痛 しっしん しもやけ にきび 痔 冷え性 腰痛 リュウマチ 疲労回復 ひび あかぎれ 産前産後の冷え性

漢方薬のお風呂"薬湯"は、漢方薬として口にする生薬と同じ良質な天然の生薬を 刻んでブレンドされています。

化学的なものは一切入っていない100%天然生薬ですので、身体に優しく、効果・ 効能がとても高く、天然生薬の香りが心地よく広がります。

<漢方の本草閣 オリジナルブレンドの薬湯シリーズ>

~医薬部外品 厚生省認可済み~

仙苴湯 13種類もの生薬が絶妙に配合された本草閣自慢の薬湯です。

> 全国各地の温泉施設で使われ、大変好評頂き、このたび一般家庭向けに製品 化致しました。

ダイコーK トウガラシ配合の刺激のあるダイエット効果の高い薬湯です。

> 血行を良くし新陳代謝を高め、汗をかくことにより、老廃物を吐き出させる デトックス効果の高い薬湯です。

ダイコーH 美肌効果の高い薬湯です。お肌を整え、スベスベに・・・。

エステなどでも使用されており、アトピーの方にもとても好評な薬湯です。

ダイコーS ゆっくり、穏やかに温まりたい方にオススメ。

医療施設でリハビリ用としても使用されています。

自然の恵みの植物から作られました漢方薬の薬湯をぜひお試し下さい。

「本草閣かわら版」編集部 編集責任者 川出 [文責 林 譽史朗]